

## 要請番号 (JA02125201)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	派遣期間	派遣時期
カンボジア	D233 建設機械		個別	短期 1ヵ月	2026年8月以降

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

カンボジア地雷対策センター(CMAC)

## 2) 配属機関名 (日本語)

カンボジア地雷対策センター中央整備工場

## 3) 任地 ( バッタンバン州バッタンバン ) JICA事務所の所在地 ( プノンペン )

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( バスで 約 5.5 時間 )

## 4) 配属機関の規模・事業内容

カンボジア地雷対策センター(CMAC)は、国際連合カンボジア暫定統治機構(UNTAC)管轄下の1992年、難民の安全な帰還を支援するため設立された。その後、国土全域に地雷や不発弾が埋まっていることが判明し、2000年に独立機関となり国民の平和と安全のため、地雷や不発弾の除去、地雷処理のトレーニング、啓発等を担っている。同センターでは、本要請の活動先である中央整備工場の他、平和博物館等を有している。年間予算は約2200万米ドル(2022年)。技術協力プロジェクト「カンボジア地雷対策センター組織強化プロジェクト フェーズ2」が実施中である。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

CMACは、2030年までに国内の対人地雷の除去を完了させ、その後は不発弾や対車両地雷の除去、国内外の地雷・不発弾関係者へのトレーニングなどに活動の重点を移す計画である。これらの活動に必要な重機・特殊車両の整備は、ほぼすべてが中央整備工場で行われており、同計画の遂行には必要不可欠な施設となっている。本整備工場は、2002年に日本の無償資金協力で建設され、2012年から2015年にかけてJICA海外協力隊が、機材(重機、車両)の保守管理をサポートした。現在、2025年春募集で長期の海外協力隊を要請中だが、今回、JICA技術協力プロジェクトとも協議し、現状及び支援の方向性の確認の為、短期隊員を派遣する事となった。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下、長期隊員が行う予定の活動内容について現状を把握し、JICA事務所および技術協力プロジェクトへフィードバックする。また、協力可能なものがあれば、配属先と協議して進めていく。

- 車両(特に重機・特殊車両)の稼働状況と保守管理状況を把握し、担当者と共に計画的な保守管理方法を立案する。
- 保守管理に必要な技術指導(マニュアルの作成、整備)を行う。
- 担当者と共に、重機・特殊車両の保守管理に関する研修会を実施する。
- 可能な範囲で、関連業界の新しい知識を入手しスタッフに紹介する。
- 保守管理、在庫管理に必要な知識を伝える。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

地雷除去機(日立、KOMATSU製)、Brush Cutter草刈重機(日立製)、トラック、一般車両、旋盤、フライス盤(静岡鐵工所)、整備用の工具類等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

工場長(男性1名、50代)  
機材整備担当副所長(男性1名、40代)  
重機担当整備士(男性5名、20歳～30代)  
車両担当整備士(男性10名、20歳～30代)

#### 5) 活動使用言語

英語

#### 6) 生活使用言語

クメール語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

### 【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）2年以上 備考：業務遂行上必要

[参考情報]：

- ・職業訓練指導員免許(自動車整備科)なるべく
- ・職業訓練指導員免許(内燃機関科)なるべく

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（22～38℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

### 【特記事項】

2024年に日本の外務大臣がCMACを視察し、「地雷対策支援に関する包括的パッケージ」及び「日カンボジア地雷イニシアティブ」の立ち上げを発表するなど、国内外からの注目度は高い。

### 【類似職種】

・自動車整備  
※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。